



関西大学 海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム

ASEANの新興市場は、進取の精神とバイタリティにあふれ、かつての日本の高度経済成長期のような活気があります。一方、日本企業は高い技術力や顧客満足度の高い製品を生みだし、ASEANをステージに、その発展を取り込んで第2の成長を果たすことができる潜在力を有しています。しかし、十分にその能力を発揮できていないのが現状です。その原因の一つとして指摘されるのが、ASEAN子会社の経営を担う人材に十分な教育を行わずに派遣していることです。特に中堅・中小企業では体系的な教育の機会がほとんどありません。本プログラムは、企業出身教員による実践的な講義と、大学教員による社会を俯瞰的に見るための専門講義を組み合わせ、海外展開を牽引する企業人を育成します。

経済学部 後藤健太教授／ASEAN経済 ディスカッションの様子

本プログラムの特長

- 経営戦略、トップマネジメント、ASEANの宗教、地理・歴史、経済など体系化されたカリキュラム
- ケーススタディでのディスカッションや、グループワークを通じての問題解決力、経理交渉力の向上
- 企業出身の実務家教員による実践的な講義
- 授業を欠席した場合でも、ビデオ講義にて受講可能
- 修了生には、学校教育法に基づき「履修証明書」を交付

受講生像

- 事業拡大及び新規事業の推進者
- 現地労働問題等に対応できる人事労務責任者
- 法令規則等の改定及び経済・政治情勢の変化に対応できる現地マネージャー
- 海外工場マネージャー
- 設備投資の判断ができる財務責任者

教育プログラムの概要

START 約9ヶ月 GOAL

履修証明プログラム

必修科目 <20科目 120時間>

- 異文化コミュニケーション ● 人を動かす論証型プレゼンテーション ● マーケティング戦略
- 日本の経営思想 ● ASEAN経済 ● ASEANの宗教・文化 ● 中国経済 ● 経営者の戦略的役割
- 海外経営のための会計情報の利用 ● グローバル企業の人材育成他10科目

選択科目 <7科目 39時間>

- 海外展開のためのM&A ● 海外事業体(子会社)における経営者の責任と役割他 5科目

学び直しのサポート体制

社会人が受講しやすい環境・工夫

都心型キャンパス
(時間的制約の解消)

関西大学梅田キャンパスは、阪急梅田駅(徒歩5分)の大阪市北区鶴野町に開校。

e-learningによる学習
(教育の実質化)

事前授業にて30分程度の予習を行い、必要な知識を習得。

講義・収録配信システム
(欠席に関わる配慮)

授業を欠席した場合、当日の授業映像をオンデマンドにて視聴可能。

集中合宿授業
(人的交流支援)

集中合宿授業(関西大学六甲山荘)を実施。異なるバックグラウンドを有する受講者がお互いに意見を交換することにより、教育効果を高め、人的ネットワークの創出。